

いのちの やさき

文・写真／宮崎雅子

おかあさんの手

娘の出産予定日が 近づいていた
マンション1室の助産院で 今日は 健診の日
ドップラーから ドク、ドク、ドクと リズミカルに
おなかの 赤ちゃんの心音が聴こえてくる
5歳のお兄ちゃんも 一緒にうれしそうに聴いている
すっかり母のかんろくを 見せながらも
助産師である わが母の前でほほえむ笑顔は 娘のそれで
おなかの赤ちゃんも きっと 居心地がよく 笑っているのだろう
出産に向けて 母は 天を仰ぎ 一段と身を引き締める



みやざき まさこ 写真家。写真集に「Mother」(医学書院), 「NICUのちいさないのち」(メディカ出版), 「胎動」(ショパン), 共著者に「いのちを産む」(学研), 「母になる」(メディカ出版)など。出産や赤ちゃんなどいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。写真展「Mother」を各地で開催中。